

** 2011年9月作成（新様式第4版）（指定医薬品の削除）

* 2007年3月作成（新様式第3版）

日本標準商品分類	
87273	
承認番号	14400AMZ00275000
保険適用	平成12年4月
販売開始	平成6年3月
再評価結果公表	昭和57年8月

齶窩及び根管消毒・ 歯髄鎮痛剤

村上キャンフェニック

** 劇薬

貯法：遮光、気密容器、室温保存

* 使用期限 3年

【組成・性状】

1. 組成

本品100g中次の成分分量を含有する。

日局	フェノール	45g
日局	d-カンフル	45g
日局	無水エタノール	10g

*2. 性状

本品は無色～淡紅色の液で特異なおいがある。また、本品はやや酸性（pH5.38）¹⁾である。本品は皮膚を侵して白くする。

【効能・効果】²⁾

齶窩および根管の消毒、歯髄炎の鎮痛鎮静

【用法・用量】²⁾

通法に従って、齶窩及び根管の処置後、本剤の適量を滅菌小綿球または綿繊維に浸潤させて窩内あるいは根管内に挿入し、仮封する。

【使用上の注意】²⁾

1. 副作用

(1) その他の副作用

過敏症（頻度不明）：過敏症状があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること。

2. 適用上の注意

- * (1) 腐食力が強いので注意して使用すること。
- (2) 浸出液の多い根管への適用は、根尖部の刺激性が増加するので、使用を避けること。
- (3) 予め局所を十分に乾燥してから、本品を使用すること。
- * (4) 軟組織に対し局所作用をあらわすおそれがあるので、口腔粘膜等へ付着させないよう配慮が必要である。

従って、ラバーダム防湿等を励行すること。

* (5) 軟組織に付着した場合、直ちに拭き取り、エタノール、グリセリン、植物油で清拭するかまたは多量の水で洗う等適切な処置を行うこと。

* (6) 本品は顔、皮膚等に付着すると数十秒で付着部が白変する。皮膚等に付着したまま放置すると炎症を起し、化学的損傷を生じるので、(5)のように直ちに処置する。その場合は火傷の治療に準じて処置するか、直ちに皮膚科医に相談すること。

* (7) 容器から使用適量をダッペングラスにとり、滅菌小綿球または綿繊維に浸潤させて窩内あるいは根管に挿入する。

* (8) 眼に入らないように注意すること。

(9) 本品は歯科用にのみ使用すること。

3. その他の注意

(1) 急性毒性

本品の主成分フェノールについて LD₅₀ 530mg/kg（ネズミ、経口）であるが、本品は LD₅₀ 1360mg/kg（ddY系雄性マウス）であった。³⁾

(2) 局所刺激性

家兎背部皮膚を用いて、局所刺激性を比較したところ、生理食塩水を0、液状フェノールを1.0とした場合、本品は0.7を示した。⁴⁾

* (3) 腐食性

本品はフェノール45%濃度の液であり腐食性が強く皮膚を侵して白くする。

【薬効・薬理】

本品の消毒作用を液状フェノールと比較したところ、口腔内化膿菌の黄色ブドウ球菌 (*S. aureus*) に対して 0.4 倍、一般細菌の代表とされる大腸菌 (*E. coli*) に対しては 0.5 倍、口腔内カンジダの糸状菌 (*C. albicans*) に対しては 0.5 倍であったが、いわゆる虫歯菌 (*S. mutans*) に対して 1.3 倍の効果を示した。⁵⁾

* 【有効成分に関する理化学的知見】

(1) フェノール

一般名：フェノール

化学名：Phenol

分子式： C_6H_6O (94.11)

性状：本品は無色～わずかに赤色の結晶または結晶性の塊で、特異なにおいがある。本品は光又は空気によって徐々に赤色を経て暗赤色となる。本品は皮膚を侵して白くする。

(2) d-カンフル

一般名：d-カンフル

** 化学名：(1*R*, 4*R*)-1, 7, 7-Trimethylbicyclo[2, 2, 1]heptan-2-one

分子式： $C_{10}H_{16}O$ (152.23)

性状：本品は無色又は白色半透明の結晶、結晶性の粉末又は塊で、特異な芳香があり、味はわずかに苦く、清涼味がある。本品は室温で徐々に揮散する。

** 【包装】

25 mL 褐色ガラス瓶入

【主要文献】

- 1) 尾崎博子：歯科用薬剤等の水素イオン濃度 (pH) に関する研究、村上研究所報、(8-9)、16~21、1986
- 2) 第20次医薬品再評価結果 (昭和57年8月10日薬発第707号厚生省薬務局通知)
- 3) 竹中栄子ほか：3種フェノールカンフル製剤の急性毒性、九州歯科学会雑誌、33(5)、511~517、1980
- 4) 黒木賀代子ほか：3種フェノールカンフル製剤の局所刺激性、九州歯科学会雑誌、33(5)、518~523、1980
- 5) 村上雄次：歯科用消毒剤の微生物発育阻止作用に関する比較研究、日本歯科保存学雑誌、26(1)、284~314、1983

【文献請求先】

アグサジャパン株式会社

〒540-0004

大阪市中央区玉造1丁目2-34
06-6768-6344 (代表)

* 製造販売業者及び製造業者

アグサジャパン株式会社 大阪府大阪市中央区玉造1丁目2-34